

2019年11月30日、サンパルク650自治会、防災・減災訓練の報告

主催：サンパルク650自治会、協力：海老名災害ボランティアネットワーク

毎年、サンパルク650自治会の防災訓練に、海老名災ボラは支援・協力をしています。

今年（2019年）は、高層ビルの住宅団地（3棟）で構成される「サンパルク650自治会」独自の取り組みとして、「建物上階への水の運び上げ」、「階段避難車による避難訓練」、「ガソリン発電機の試運転」が付け加わりました。サンパルク650自治会の独自の取り組みについて、海老名災ボラも学ぶことができ、感謝しております。訓練の参加者は、自治会役員を中心に約40名でした。

《 資料の目次 》ここでは、資料を省略します。

はじめに 体験型訓練の進め方	2
1 災害時のトイレ対策	3
2 通電火災防止対策	4
3 建物上階への水の運び上げ	5
4 階段避難車による避難訓練	6
5 ガソリン発電機の試運転	7

はじめに 体験型訓練の進め方

（1）本講座の目的

地震が発生した時に皆さんがいる場所で「自分の命と健康を守る基本行動」を身につけるための訓練（シェイクアウト訓練）、さらに、地震発生し揺れがおさまった後で、ライフライン（電気・上下水道・ガス・交通など）が停止しても、自宅で生活ができるように（「在宅避難」）、家庭で「事前の備え」をするための訓練を行います。

これらの訓練を通じて地震災害に対する関心を高め、一人ひとりの災害対応能力（自助）を高めることを目的としています。

参加者は本講座終了後に本日の講座を振り返りながら、家内外の安全チェックと安全対策を確実に実施するとともに、水・食糧の備蓄と防災用品のチェックなど行ってください。

（2）体験課目とスケジュール

- 受付：9時00分～9時20分、管理棟集会室
- ・参加者は受付で、号棟・部屋番号と氏名を記入する。
- ・資料（テキストなど）を受け取る。
- ・受付の指示により、グループ別（A班、B班、C班）に分かれる。
- ・災害食体験の机に行き、災害食袋にお湯を入れ、袋に班名と氏名を記載し、そこで、食事時間まで保管する。

★資料は省略します。

